

みやづ

源太郎政沆
本編

市議会だより

第116号
2024
8.5

一色氏族の歴史
第一巻
一色公深、頼行、範氏、他、系図

令和6年5月臨時会・6月定例会
正副議長・新しい議会の構成決まる

常任委員会
報告

補正予算・請願書・
条例審査、意見書提出

一般質問

12人の議員が市政を問う

〈特集〉
所管事務調査

映像を活用したまちづくり
持続可能な農業の確立に向けて

p.2~3

p.4~6

p.7~13

p.14~15

一色氏関連の
史料
P16 参照

ひとこと

丹後の庄屋層の歴史を守る

宮津地方の文化遺産を守る会

会長 森 哲也さん

私は丹後一色氏研究会として15年以上勉強をしています。
長く勉強していると、最近気づいたことがあります。

それは、中世から近世に至るまでの丹後の歴史は一色氏と細川氏を中心に語られています。実はその配下で戦い続けた地元武将や、戦国時代以後に帰農し地区の庄屋層として現在に至るまで活躍された人々の歴史が大事であるということです。

近頃は個人情報厳しく扱われますので、調査することが難しく、丹後の名家の家伝や古文書が失われようとしています。
丹後の歴史にとって大切なものですから、系統立てて記録に残して誰でも勉強できるようにしなければいけません。よろしくお願いします。



YOUTUBE での情報発信

9月定例会 会議日程

・請願書の締切り 8/22(木) 正午

日	月	火	水	木	金	土
8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
			本会議 (開会・提案説明)			
9/1	2	3	4	5	6	7
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・質疑～委員会付託)	
8	9	10	11	12	13	14
	常任委員会・ 予算委員会	決算委員会				
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
		予算・決算委員会 (総括質疑)	予算・決算委員会 (委員間討議)			
29	30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5
	本会議(補正予算等) (委員長報告～採決)					
10/6	10/7	10/8	※開議時刻10:00 ・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。			
		本会議(決算等) (委員長報告～採決)				

編集後記

宮津市は市制施行70周年を迎えました。人口は市制施行時の3万6千人から1万6千人(台)に減少し、少子高齢化が進んでいます。また市庁舎の老朽化も著しく、本年3月には、基本構想等検討委員会から、庁舎整備に向けた答申がありました。市の方向性が示されたことで、市民のくらしの中心部である庁舎のあり方に、多くの方が関心を寄せています。
市民からは、多様な意見がありますが、民意を反映させていくのが、市民から負託を受けた議会の重要な役割です。こうした中で「議会の活動が見えない」との指摘もあります。議会活動の「見える化」を中心として、進めていくのが議会情報化委員会です。
皆様からのご意見をお待ちしております。
(宇都宮 綾)



【議会情報化委員会】

委員長 松本 隆
委員 宇都宮 綾
委員 幾世 恭典
副委員長 久保 浩
委員 安田 裕美
委員 堀 未季

宮津市議会の新しい構成

正副議長

議長 松浦 登美義

副議長 星野 和彦



就任のごあいさつ

このたび、第39代宮津市議会議長に就任いたしました。
宮津市は、市制施行70年の節目であります。庁舎の問題、人口減少、少子高齢化など山積する中で議会の役割は益々重要であります。
伝統ある宮津市議会であります。時代とともに変えていかなければならないこと、変えてはならないことがあると思います。スピード感を持った議会改革を行い、あなたの声を市政へ反映できる議会に成長してまいります。

そのために、言論の府としての議会運営、政策提言・政策立案などの強化、そして議会の見える化を進めてまいります。本市の魅力である観光を基軸に地域経済の活性化、移住定住などの推進で「笑顔のひろがるまち宮津」を目指し元気な地域を創出していきます。
市民の皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。

宮津市議会議長 松浦 登美義

5月臨時会のごきき

5月臨時会を、5月7日から9日までの3日間開催しました。補正予算と関連する請願1件を審査、請願を不採択とし、補正予算を原案のとおり可決しました。
臨時会の傍聴者は延べ8人でした。

6月定例会のごきき

6月定例会を、5月29日から6月25日までの28日間開催しました。今定例会では、補正予算、条例改正など7議案を審査し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、議員提案の「一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議」、「議会委員会条例の一部改正」、「再審法の課題解決に向けた速やかな議論を求める意見書」、「国に対して、緊急事態に対応できる法令の整備を求める意見書」のほか、「映像を活用したまちづくりに関する提言書」、「持続可能な農業の確立に関する提言書」を可決しました。
さらに、議長選挙、副議長選挙や議会運営委員・常任委員会委員の選任などを行いました。

一般質問は、6月6日、7日に12人の議員が行いました。
今定例会の傍聴者は延べ36人でした。

議会の構成

（令和6年6月25日）

常任委員会					議会運営委員会	委員会名 （◎委員長 ○副委員長）	所管事項
予算委員会	決算委員会	総務文教委員会	産業建設福祉委員会	議会情報化委員会			
◎河原 末彦 ○幾世 恭典 宇都宮 綾 小濃 孝之 安田 裕美 久保 浩 堀 未季 星野 和彦 坂根 栄六 長本 義浩 横川 秀哉 松本 隆	◎松本 隆 ○河原 末彦 小濃 孝之 坂根 栄六	◎小濃 孝之 ○幾世 恭典 堀 未季 星野 和彦 横川 秀哉 松本 隆	◎久保 浩 ○宇都宮 綾 安田 裕美 河原 末彦 坂根 栄六 長本 義浩 松浦登美義	◎松本 隆 ○久保 浩 宇都宮 綾 安田 裕美 幾世 恭典 堀 未季	◎松本 隆 ○河原 末彦 小濃 孝之 坂根 栄六	◎委員長 ○副委員長	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項
・予算の議案等に関する事項	・決算の議案等に関する事項	・総務部、企画財政部、市民環境部、会計課、教育委員会 の所管に属する事項 ・他の常任委員会の所管に属しない事項	・健康福祉部、産業経済部、建設部、農業委員会の所管に属する事項	・議会広報誌の編集・発行に関する事項 ・議会広報の調査・研究に関する事項 ・議会報告会に関する事項			

議会活性化特別委員会	
委員会名 （◎委員長 ○副委員長）	所管事項
◎横川 秀哉 ○河原 末彦 宇都宮 綾 小濃 孝之 安田 裕美 久保 浩 幾世 恭典 堀 未季 星野 和彦 坂根 栄六 長本 義浩 松本 隆	・議会基本条例の検証 ・議会運営に係るDX推進の調査研究 ・議員報酬及び議員定数の調査検討

関係機関の議会議員

京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	星野 和彦
京都府地方税機構議員	星野 和彦

人事案件の同意

宮津市監査委員 久保 浩

委員会とは？

市長または議長が定例会や臨時会に提出した案件は、最終的には本会議で決められますが、本会議での議決の前に、案件をきめ細かく調査する機関として、委員会制度が設けられています。

委員会では、分野別の内容、予算や決算、特別なテーマなどを審議します。
現在、宮津市議会には、5常任委員会と1特別委員会を設置しています。
また、議会の運営に関することも委員会で審議しています。



令和6年度補正予算審査



予算委員会
録画映像

予算委員会

一般会計

補正予算(第1号)
日本三景「天橋立」
魅力発信事業に
2500万円

Q ブルーインパルス展示飛行招致の経緯と70周年記念事業の考え方は？

A 展示飛行は、日本三景の松島や宮島でも実施。誘客に大きくつながるため、市制70周年、宮津線100周年の記念の年に招致活動したのも。

Q 経済効果の見込みは？

A 全国から多数のファンの来訪が想定される。市内宿泊施設で賄えない場合、海の京都エリアへの経済効果もある。来

場者の想定は約6万人で、昼の飲食店等の売上にもつながる。

Q 渋滞対策は？

A 駐車場の事前予約システムを導入し、栗田や与謝野町でも駐車させ、市街地への流入混雑を防ぐ。ステイジイベントを午前と午後に分けて、車の出入り時間を分散させる。

委員間討議

●市制50・60周年のときは、市民主体で事業をしたが、今回はそうではない。持続可能な経済波及効果も生まない。
●新たな観光戦略の意味でも大変有意義な事業。万博など今後の展開につながるよう尽力されたい。
●ステイジイベントは郷土芸能など市民

討論
議第43号
補正予算
第1号

賛成
蒼風会
横川 秀哉
市制施行70周年を祝う「海の京都にぎわいフェスタ」を全ての市民が楽しむとともに、宮津市を国内外に広く発信する盛大なイベントになることを期待する。

反対
日本共産党
小濃 孝之
ブルーインパルスの展示飛行は、市民が主体的に参画する取り組みではなく、経済効果も一過性であるため、市制70周年記念事業にはふさわしくない。

不採択

請願書

◆航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行の中止を求める請願書
【請願者】宮津市制70周年記念行事のあり方を考える会
代表 拝野 宗只氏
【趣旨】市制70周年記念事業としての航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行中止を求める。

委員会

【賛成意見】
○記念事業は市民が主体となって祝うもので、事前に市民の意見を募らずに決まったのであれば、70周年記念事業にはふさわしくない。経済波及効果はあるだろうが、市民全体の生活向上にはならない。
【反対意見】
○市制70周年を祝うにあたり、宮津市を国内外に広くPRする良い機会であり、観光宮津市にとって効果が大きい。
○展示飛行招致が、行政の公平、中立性を逸脱するものではないと考える。

賛成

討論

賛成
日本共産党 宇都宮 綾
次世代に伝えたい歴史文化こそが、本来の周年事業であり、中心は市民だ。ブルーインパルス展示飛行に疑問の声がある。飛行の中止を求める請願に賛成だ。

5月臨時会 議決結果

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：議長は採決に加わりません

	会 派 名		蒼風会				新無所属 クラブ			公明党		共産党 議員団		無会派	無会派		
議 案 番 号	案件・結果		議員名		坂根 栄六	堀 末季	長本 義浩	横川 秀哉	星野 和彦	河原 末彦	久保 浩	松浦登美義 隆	松本 孝之	宇都宮 綾	安田 裕美	幾世 恭典	
報告 5	専決処分の承認を求めること（市税条例の一部を改正する条例）		承認		○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
報告 6	専決処分の承認を求めること （国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		承認		○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
報告 7	専決処分の承認を求めること（R5一般会計補正予算（第12号））		承認		○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
43	R6 一般会計補正予算（第 1 号）		可決		○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○
請願2	航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行の中止を求める請願書		不採択		×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	×

<報告第5号～7号は5月7日、その他は5月9日に議決。>

補正予算(第2号)
2億4133万円
SDGs推進事業に
380万円
Q 情報発信ツールはどのようなものか？
A 市のホームページとは別システムを構築。会員が自由に記事を書き込め、アンケートや統計データも管理できる。
庁舎整備に向けての
庁舎等管理事業に
1500万円
Q 庁舎のミップルへの集約移転決定は市民にいつ、どういう形で周知するか？
A 移転はまだ決まっていない。株さとう、阪急電鉄株との協議開始の合意を得た段階。今後、基本計画から工事発注まで概ね3年程度。並行して、両社と所有権移転、ビル運営や

店舗部分の貸し付け等の協議調整を行う。合意が取れたら、令和9年7月以降に所有権移転、工事着手。今後、検討委員会での協議し、経過は随時ホームページや広報誌で知らせる。

Q 今後の検討委員会では、より専門的な知見からの計画作りが必要。委員の新たな選定と、市民参加の考え方は？
A 委員は、昨年度の基本構想の検討メンバー。市民や関係団体の意見を聴取し、取り入れるかどうかを判断していく。

Q 売場減少に伴うミップル買い物利用者に与える影響は？
A 基本構想の答申でも検討課題とされた。利便性を大きく損なわないように、周辺エリアでの対応も含め検討していく。

委員間討議

SDGs推進事業について
●「プラットフォーム」を軸として市民も巻き込んだ活動となるよう、しっかりと周知されたい。
●目標年限に対し、世界の情勢と事業目標の乖離を考える必要がある。

庁舎整備に向けての
庁舎等管理事業について
各委員の意見を集約し、次の3点について議決。

附帯決議

1 市民に対する情報提供は、基本計画策定における内容をはじめ、進捗状況を適宜、情報発信し周知すること。
2 検討委員会の委員構成は、より具体的な基本計画の立案に入り、多様な市民の視点と専門的な知見が必要となるため、



医療マース車両内でのオンライン診療

検討委員会の委員構成を再考すること。
3 適宜、議会へ報告し必要に応じて協議の場を設けること。
補正予算(第3号)
2182万円
地域医療推進事業に
2000万円
Q 医療マース事業は医師の往診を補完するものだが、医師が直接触診しないことへの患者の声は？
A 実施者アンケートの傾向では、しっかりと診療していただけという感想を持たれている。

Q 運行形態は？
A エリアは限定せずに週2日、一日の対応人数を午前・午後各2人として患者の選定をしてきた。今年度も運行日を限定して実施する。

中学校部活動地域移行検討事業に
182万円
Q 検討委員会の人選は？
A 委員15名以内。市内のスポーツ・文化団体の代表、中学校長、中学校及び小学校の関係者代表、PTA代表、市及び市教委の担当職員。

委員間討議

地域医療推進事業について
●対面診療の補完と捉えており、本来の診療が形骸化しないか懸念する。
●週2回と曜日が固

定されている。薬が必要な人や精神患者など幅広く利用しやすいことを望む。

中学校部活動地域移行検討事業について
●土日の地域移行で教員の超過勤務等の軽減が見込まれる。文化部は、地域資源や受け皿があるのかしっかりと考えていく必要がある。
●平日と休日に住み分けされているが、指導者によって子どもが受ける影響が変わる。検討委員会で協議・調整しながら進められたい。

補正予算(第4号)
美食品のまちづくり推進事業に
1700万円
宮津の魚介や農産物を使った料理メニューの開発や食体験を組み合わせた滞在型の宿泊プラン等を構築し、モニターツアーなどを行うもの。

栗田地区の地域公共交通の確保を

企画部長 利用者ニーズを聞きながら引き続き対応する



日本共産党
おのう たかゆき
小濃 孝之

問バス路線の田井線廃止に伴う地域公共交通として、200円タクシーをベースに、交通結節点である獅子と宮津を有償運送車で送迎する方向で、市と栗田有償運送運営協議会で協議されている。有償運送がスタートする10月以降も含め、協議会・区民に寄り添った協議をされたい。

企画部長 利用者ニーズを聞きながら引き続き対応したい。200円タクシーの利用区間が栗田地区全域に拡大されたことにより、栗田地区内であればどこで乗ってもよいし、どこで降りてもよいと理解してよい。

企画部長 乗降は可能。栗田駅の跨線橋を利用しづらい区民のために、駅ホームの西側でも200円タクシーの乗降ができるようにすべきだ。

企画部長 丹鉄に確認したところ、改札口がないため国道側ホームへの出入りはできないとのことであった。改札側ホームへの入線を引き続き申し入れていきたい。

企画部長 津地区への移動手段を確保してほしいとの強い要望が上がった場合、それを保障する地域公共交通の確保は可能か。

企画部長 運行ルート等の変更については、鉄道事業者やタクシー事業者を含めた市全体の公共交通の体系、また他地区とのバランスを十分考慮

する必要がある。宮津市地域公共交通会議で協議させてもらう。

問市民が利用しやすい地域公共交通になるよう、今後も改善していくべきだ。

企画部長 今後も、市全体の地域公共交通のバランスが崩れないよう各公共交通が連携した上で、必要な改善が行われるものと考えている。

特別障害者手当制度の周知徹底を
問特別障害者手当制度の周知の方法は。

福祉部長 市のホームページや広報誌に掲載している。また、夏頃配布予定の介護保険制度のガイドブックに手当のチラシを挟み周知を行う。

資料館一帯のソフト面の具現化を
市長 観光や文化創造活動などソフト面を推進する



蒼風会
さかね えいろく
坂根 栄六

問京都府の丹後郷土資料館が、令和8年度中のリニューアルオープンを目指すことが明らかにした。丹後の歴史・文化をコア（核）に、丹後地域の魅力を世界に発信し、文化・観光・地域経済の活性化を促すとともに、地域の様々な人々と文化をつなぎ、交流と創造を育む『ハブ・ミュージアム』として整備される。

市長 「文化×観光のまちづくり」を、更に進めていかなければならない。再整備後の当館を核としたまちづくりを進めるための「府中観光プラン」を令和4年度に策定した。現在、観光庁の事業を活用した各個店の魅力アップや眞名井神社周辺の修景整備、周遊性の向上を図るグリーンスローモビリティの導入実証、市道役場西山線の一部拡張などに取り組んでいる。今後も、京都府の動きとも連携を図る中で、魅力の発信、歴史文化の新たな価値の掘り起こし、地域学習の充実、グリーンスローモビリティの体制構築、海を活かした「みなと

オアシス」エリアの拡大、ガイドツアーの構築、イベントの定期開催など、観光や文化創造活動などの幅広い分野でソフト面の取り組みを推進するとともに、当館の利用促進など、サポート体制の構築を含め、市や事業者、関係団体が一緒になって取り組みたい。

問当市の観光の弱点の一つは、雨。丹後魚つ知館が閉館し、郷土資料館はそれに代わる大きな役割を担う施設となる。雨天での観光ルートの見せ方など対策が必要では。

産業部長 大切な視点である。そういった視点での企画商品の造成も検討できればと思う。

一問一答

市民部長 市民に寄り添うごみ分別の強化策の啓発を支援したい



新無所属クラブ
ほしの かずひこ
星野 和彦

問昨年11月末に始まったごみ分別の強化は、ルールが分かりづらく、分別を少しでも間違えると、ごみが収集されず、市民が困惑している。ごみ分別は、市民が判断し、行政と補い合う信頼関係が根本だと考える。現状と改善策を尋ねる。

市民部長 ①店頭で食品を包装するラップは、透明のプラマークのごみ袋、家庭用のラップは赤色の可燃ごみに分別する。汚れのついたラップは回収しない。

②プラマークのごみ袋に輪ゴム等が混入すると、原則回収しないが、最近では市民の理解が進み、未回収は減少している。

③ごみ分別の説明会

は、自治会等の依頼に応じて昨年11月以降13回、のべ286人を対象に開催。今後は動画の作成と活用、SNSや広報誌等でも周知する。

事業承継のサポート体制を築こう

問本年4月末、市内に本社を置く最後のスーパーマーケットが閉店したように、法人と個人事業主を問わず、各産業の担い手が毎年減少して、危機的な状況だ。現状と改善策を尋ねる。

産業部長 ①本市の事業所数は、令和3年に1137で、5年間で97減少した。一方、商工会議所等と創業支援に注力し、4年間で新規事業者が60増加した。

②事業承継の補助金制度は、当市の創業等支援事業補助金や今年度創設したふるさと納税型クラブドファンディング活用事業補助金の他、国府の補助金がある。

問農業の担い手不足や耕作放棄地などは、生産性や集落の維持機能、自然環境の循環や防災の観点から重要な課題である。解決に向けた市の農業施策を順次問う。

担い手の考え方と支援体制は。

産業部長 生計を立てられる農家や半農半X、非農家、農村と関わる関係人口など多様な担い手を確保し、ニーズに合った支援をしていく。

問耕作放棄地の考え方と支援策は。

について所見を伺う。

産業部長 機械については集落営農の取り組みで奨励し、人材については有効だが、検討や調整が必要。

問喫緊の課題解決に向けた農業施策について市の考えを伺う。

市長 地域農業を持続、発展させることは必要。多様な担い手確保を地域と共に進め、一人一人が活躍でき、地域の実情に応じた農業・農村の持続的な発展に取り組む。

一問一答

市長 農業・農村の持続的な発展に取り組む



無会派
やすだ ゆみ
安田 裕美

問出版されている教科書は複数あり、歴史においても内容や表現に違いがある。市の歴史教科書の採択について伺う。

教育次長 児童生徒が学習する上で極めて重要な役割を担う教材として、公正・中立でバランスのとれた教科書の採択に努める。

郷土愛を育むふるさとみやづ学の充実を
問日本語の語源となる「やまとことば」には一音一音に固有の意味がある。地域の方言、神話や昔話を言語から紐解き、歴史や文化を学ぶこと



問 市制施行70周年記念事業のブルーインパルス展示飛行については、終了後の観客移動等による交通渋滞が懸念される。確保している駐車場の最大収容台数見込みを伺う。

産業部長 合計約4千台の臨時駐車場を開設する。

問 シヤトル便の計画を伺う。

産業部長 栗田中学校グラウンドから鶴賀ふ頭へ向けて、一方運行として移送計画を予定。移送スケジュールの詳細などは、今後、事業者と調整して決める。

問 駐車場によって混み具合に差が出ると推察され、警備員の増減調整が必要と思われるが策を伺う。

産業部長 警察との協議、警備会社とも調整をしながら、地元住民や来場者の安全確保を最優先とする。観覧推奨場所とする島崎公園一帯や天橋立、阿蘇シーサイドパーク、駅から会場までの道路など混雑が予想される力所を警備区域として警備員を配置し、警察と連携しながら雑踏対策や不審者・不審物などの対応にあたる。加えて、緊急事態の発生の対応も含め、安全確保に万全を期していきたい。

問 展示飛行終了後、観客が一斉に駐車場を出ると、相当の渋滞が懸念される。回避策を伺う。

産業部長 京都丹後鉄道や、輸送バスの混

一問一答

ブルーインパルスの交通渋滞対策は

産業部長 ステージイベント等で観客の滞留策を計画



新無所属クラブ くらほ 久保 浩

雑緩和を図り、緩やかな帰宅誘導として観覧者の会場滞留につながるよう、展示飛行終了後に、自衛隊舞鶴音楽隊の演奏をはじめとするステージイベント、飲食等が楽しめるブース設置等を計画。また、会場周辺の事業者にも、営業時間の延長などをお願いしている。

市外から多くの方を見込み、本市の観光PR、移住定住やSDGsの取り組み紹介ブースの設置と共に、イベントの特別ホームページに海の京都エリアを紹介するバナーも設置している。

令和5年度 政務活動費収支報告

		蒼 風 会 (6人→5人) R5.4.19～	無所属クラブ (3人) R5.4.11～	公 明 党 (2人)	日本共産党 宮津市会議員団 (2人)	無 会 派 (1人) R5.4.11～
所属議員名		坂根 栄六 幾世 恭典 堀 末季 長本 義浩 横川 秀哉 (徳本 良孝)	星野 和彦 河原 末彦 久保 浩	松本 隆 松浦登美義	小濃 孝之 宇都宮 綾	安田 裕美
収入	政務活動費	610,000	330,000	240,000	240,000	110,000
支出	調査研究費	0	93,398	106,896	0	0
	研 修 費	0	0	0	0	18,510
	広 報 費	0	220,044	0	193,397	
	資料購入費	0	0	0	35,813	17,101
	計	0	313,442	106,896	229,210	35,611
返 還 金		610,000	16,558	133,104	10,790	74,389

主な支出内容

会派	支出内容
蒼風会	—
新無所属クラブ	・調査研究費 ①徳島県上勝町会派広報誌作成 ・広報費
公明党	・調査研究費 ①岡山県笠岡市 ②広島県福山市 ③岐阜県岐阜市
日本共産党 宮津市議員団	・広報費 議会報告 ・資料購入費 地方議会人、平和新聞、革新懇ニュースほか書籍
無会派(安田)	・研修費 全国市町村国際文化研修所 2コース(5日間) ・資料購入費 地方議会人ほか書籍

※関係書類は、市議会ホームページ、情報公開コーナー(本館1階 玄関ホール)で閲覧いただけます。



一問一答

食品ロス削減の取り組みを

副市長 食べ残しによる廃棄の削減を重点に取り組み



新無所属クラブ かわはら 河原 未彦

問 世界では、貧困により満足に食べ物を得られない人々がいる一方で、食料を輸入に頼っている日本では、一人当たり毎日茶碗一杯分のご飯に近い量が捨てられている。また、捨てられた食品を焼却処分する時に排出される二酸化炭素が、地球温暖化の要因となる温室効果ガスを発生させ、結果的に「地球温暖化」を進行させる要因ともなっている。宮津市の食品ロスの現状と、削減への課題について尋ねる。

む可燃ごみ総量は、令和5年度の実績では4785トン、市民一人一日当たり809.6グラム。対前年度比で23.8グラム増加している。

問 本市は、「資源循環の促進に関する基本指針」で、重点的取り組みに、「食べ残しによる廃棄の削減」を挙げている。現状分析ができていなければ目標もない。施策の効果や検証をどうするのか。

市民部長 食品ロスによる廃棄物かどうか、その量を把握することとは難しい。従って個別の計画ではなく、可燃ごみ全体の減量で啓発の取り組みを実践していく。

問 基本指針では、京都府の制度である

「食べ残しゼロ推進店舗登録」を推進していくこととされている。本市では現在、飲食・宿泊施設で9施設、食品小売店で4店舗に留まっている。目標を立てずに、どういう取り組みを行うのか。

市民部長 これまで十分な周知活動がされていなかったもので、まず周知に努めていきたい。

問 「世界から選ばれるSDGsな観光都市を目指す宮津市」にふさわしい取り組みを。

副市長 店で食べ残しが出るほどたくさん料理を出す傾向もあるが、食べ残しを含む可燃ごみの減量にしっかりと取り組む。

問 宮津市では、ひきこもりの実態・現状をどのように把握しているのか。

福祉部長 本市のひきこもりの実態は、現在のところ把握はしていないが、相談窓口への相談件数は年間10件程度。

問 実態を把握していない理由は、

福祉部長 当事者が社会的な活動に参加をされていない状況があり、実数・実態を把握しにくい。

問 本市では、ひきこもりの支援窓口が複数混在しており、相談先が明確に示されていない。今後、相談・支援の仕組みの明確化のため、ひきこもりに関する窓口の一本化が望ましいが、市の考えは。

福祉部長 支援の最初の窓口は、市役所の社会福祉課と社会福祉協議会。今後は担当窓口への案内板の設置や、ホームページのリニューアルなどを行い、市民に分かりやすい周知を心がける。

問 東京都江戸川区では、実態調査、相談窓口の一本化、居場所や就労支援等、実態に合わせた支援を行っている。本市でも4年前から、「8050問題」が顕在化している」と担当課で認識があった訳だが、居場所や就労等の早期支援の導入について市としての考えは。

福祉部長 新たな居場所の設置は予定していない。既存の居場所



実態の把握と支援の見える化を

所の周知・広報をしつつ行い、必要な支援につなげていく。

問 今年4月、厚労省は自治体向けに、ひきこもりの方・家族への支援の骨子を策定した。国の動きも含め、今後の市長の意気込みは。

市長 ひきこもりは、大きな社会問題。一番のハードルは、支援を望まない方をどう支援していくか。難しい課題。府や関係機関と連携して対策を講じる中で、一つ一つの事例に丁寧に取り組んでいく。

一問一答

ひきこもり支援の現状と課題は

市長 関係機関と連携して個々の事例に寄り添う



蒼風会 ほり 堀 未季

追跡!
委員会活動

令和5年度 所管事務調査

所管事務調査は、各常任委員会が所管事項の中から自主的にテーマを設定し、調査・提言を行うものです。宮津市議会では、所管別常任委員会ごとに毎年テーマを決め、所管事務調査を行っています。



新規就農者との懇談会

○調査内容

本市の農業の実態は、農業従事者の高齢化と後継者不足に加え、鳥獣被害や農産物価格の低迷により、耕作放棄地も増え、非常に厳しい状況にある。農業が次代へ引き継がれるよう経営の安定化や担い手の育成を図るとともに、地域課題の解決に向けた取り組みを進める必要があるため、本テーマを設定した。

所管の農林水産課から本市農業の現状について聞いた。管内調査では、宮津市認定農業者協議会の新規就農者や

【提言には至らなかったが委員会で一致した意見】
「SDGs 未来都市」に選定された本市の自然豊かな環境を守るため、化学肥料や農薬の使用を低減し、有機肥料を使用するなど、オーガニック農業の推進が急がれる。

認定農業者と、また、宮津市農業委員会や丹後農業改良普及センター、JA京都宮津府中支店との懇談会を実施した。管外調査では、兵庫県豊岡市を訪ね、「コウノトリ育む農法」や「豊岡農業スクール」などの先進事例を学んだ。



コウノトリ育む農法
(写真提供：豊岡市)

産業建設福祉委員会

テーマ「持続可能な農業の確立に向けて」

市長に 提言書を提出



総務文教委員会

テーマ「映像を活用したまちづくり」

○調査内容

人口減少が加速化する宮津市において、住民が愛着を持ち、移住者からも選ばれるまちになるためには、インターネットの活用など効果的な情報発信を通じたシティプロモーションが必要だと考え、本テーマを設定した。

所管の企画課から本市のシティプロモーションの現状と主な課題3点を聞いた。

①文化と人的資源に恵まれているが、情報発信力が弱い。



福知山市での先進地行政視察

②暮らしより、誘客を目的とした外向けの情報発信が多い。

③本市の強みを生かす情報発信と他市町との差別化が未達。

管内調査では、地方の情報発信や事業化支援などを行う3社から助言や課題を伺った。

・スターマーク㈱

YouTubeの広告を活用すると、効率よい動画配信ができる。

・一般社団法人MITEMI
(株)FoundingBase

「宮津市のビジョンが言語化できていない」「市職員の人事異動で、広報内容や発信方法に統一感がない」

管外調査は、「いがいと！福知山」と「明智光秀」で、令和4年に第1回シティプロモーションアワードの金賞を受賞した福知山市を訪ねた。

まちづくりへの意欲を測るmGAP指数の改善や市内外の課題を同時に克服するシティプロモーション戦略で、市外ファンクラブ会員約300人が約3500人になるなど先進事例を学んだ。

調査日

- ◆令和5年
 - 9月15日 所管事務調査事項の委員会議決
 - 11月 2日 執行部(農林水産課)との意見交換
- ◆令和6年
 - 1月16日 宮津市認定農業者協議会新規就農者との懇談会
 - 1月16日 " 認定農業者との懇談会

- 1月23日 兵庫県豊岡市へ視察
- 2月 6日 宮津市農業委員会との懇談会
- 3月22日 視察報告、執行部との意見交換
- 4月26日 JA京都と丹後農業改良普及センターとの懇談会
- 6月18日 所管事務調査報告書の委員会議決
- ※その他、調査研究を延べ8回実施

提言書の内容

- ①農産物の地産地消の推進のための、観光業と農業を結びつける施策を強化するとともに、付加価値の高い宮津ブランド(ストーリー性を持った宮津のギフトセットなど)の開発と、都市部等への販路拡大の仕組づくりに努めること。
- ②新規就農希望者が就農に結びつくよう滞在型農業体験や研修を充実させること。また、新規就農者には、資金助成及び農地の仲介、栽培技術の相談など、個々の状況に応じた伴走支援の強化を図ること。
- ③補助要件を充足しない小規模農家が多い宮津市において、農業者のニーズ調査を行い、現場の条件に合った補助制度の導入を検討すること。

調査日

- ◆令和5年
 - 9月11日 所管事務調査事項の委員会議決
 - 10月31日 執行部(企画課)との意見交換
 - 11月11日 吉津地区の「移住PR短編映画」上映会を見学
 - 11月17日 スターマーク㈱との意見交換
 - 11月17日 福知山市へ先進地行政視察
- ◆令和6年
 - 2月16日 市民と議会の懇談会
(一般社団法人MITEMI、(株)FoundingBase)
 - 3月22日 視察報告、執行部との意見交換
 - 6月17日 所管事務調査報告書の委員会議決
 - ※その他、調査研究を延べ8回実施

提言書の内容

- ①民間や市民等と積極的に連携し、『みやづニュース』(映像コンテンツ)の充実を図り、宮津市の公式SNSや広報誌等、様々な媒体や機会を通じて積極的に情報発信を行うこと。
- ②広報みやづの記事を補完する映像コンテンツ(イベントなどの地域情報、ゴミ分別方法、各種申請手続等)を制作し、QRコードを通じて視聴を促すなど、市民への情報発信を、より分かりやすく、より伝わりやすい形で行うなどの工夫をすること。
- ③映像を活用したまちづくりを推進する指標として、mGAP指数などを参考に、市民協働によるシティプロモーションの成果の見える化を探索すること。

◆ 令和5年度 議長交際費
議長交際費とは、議長が市議会を代表して外部と交際する場合に支出するものです。

区分	件数	支出額	主な支出内容
会費	4	25,000 円	宮津商工会議所臨時議員総会懇親会会費ほか
祝金	1	2,162 円	海水浴場海開き祝酒
計	5	27,162 円	

◆ 令和5年度 市議会議員の請負の状況

議員名	契約件数	対象とする役務、物件等	契約金額の総額	支払総額
長本 義浩	6件	幼稚園及び学校のガラス割れ入替、パネル脚製作、庁舎建具調整ほか	170,700 円	170,700 円

◆ 令和5年度 行政視察受入状況

視察日	視察団体(委員会・会派等)	人数	視察項目
8月 2日	群馬県前橋市議会(会派)	11	公共交通に係る地方鉄道の取組について
10月24日	新潟県糸魚川市議会(会派)	6	公共交通と観光利用について
11月 1日	愛知県東三河広域連合議会、みらい広域委員会	13	京都府北部地域連携都市圏 公共交通計画について
11月 6日	熊本県玉名市議会(会派)	8	市民と議会の懇談会について
11月 8日	愛知県大洲市議会(会派)	8	竹資源活用について
11月14日	富山県小矢部市 交通観光特別委員会	9	京都府北部地域連携都市圏公共交通について
	計	55	